

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

7月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

令和元年度第1回地域医療支援病院運営委員会・開放型病院運営協議会が開催される

令和元年度第1回山鹿市民医療センター地域医療支援病院運営委員会及び開放型病院運営協議会を6月11日(火)に医療研修センターで開催しました。

当日は幸村会長、前原委員、吉里委員、宮坂委員、江上委員、小山委員、佐藤委員にご出席いただきました。

委員会開催に先立ち、今年4月から2名の委員の交代があり、山鹿保健所長の小山宏美先生、山鹿市福祉部の佐藤アキ部長が新たな委員となって頂いたことを紹介し、ご挨拶を頂きました。また、今年4月に就任しました別府透院長を紹介しました。豊永病院事業管理者の挨拶では、当センターが熊本県地域医療拠点病院の指定を受けたことについて説明し、今後、熊本大学病院の診療科から医師を派遣して頂けるよう医師確保に努めていきたいと述べました。その後、幸村会長の進行で議事に移り、高木地域医療連携室長が「平成30年度の医療連携の実績」について、地域医療支援病院の要件である患者紹介率、逆紹介率共に基準を達成し、また、大型機器の共同利用については昨年に比べ150件以上増加しており、「放射線科医師が就任したこと

により画像診断がよりスムーズに対応できるようになったことが考えられます」と報告を行いました。その後の意見交換では、佐藤委員から、「救急外来診療状況において診療科毎の統計は取っているか」との質問があり、「病院全体の診療科毎の数値は把握していますが、救急外来のみの診療科毎の把握はしていない」ことを説明させて頂きました。

また、令和元年度の年間事業計画(案)についても次の通り承認されました。

「各委員会・協議会等の年間事業計画」

■第2回地域医療支援病院運営委員会・開放型病院運営協議会

令和元年8月2日(金)

会場：熊本旬彩の宿 ゆとりろ山鹿

*同日開催されます鹿本地域医療連携懇談会をもって、第2回の開催に代えさせていただきます。

■第3回地域医療支援病院運営委員会・開放型病院運営協議会

令和元年12月13日(金)

会場：熊本旬彩の宿 ゆとりろ山鹿

開放型病院運営協議会 総会、ミニ講演会

■第4回地域医療支援病院運営委員会・開放型病院運営協議会及び医療研修センター運営委員会

令和2年2月12日(水)

会場：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

ご多用中のところ出席を賜りました委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

(文責：副看護部長 平山 恵)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

令和元年度 地域医療支援病院運営委員会・

開放型病院運営協議会開催報告	P 1
部門紹介(放射線科)	P 2
医療最前線(114)	P 3
プレパパ・ママ教室に参加して	P 4
公開特別講演会・がんサージボード・	
肝がん0を目指して	P 5
外来担当医表(7月)	P 6

放射線科の紹介をさせていただきます

現在、当センターの放射線科は放射線科医1名、診療放射線技師5名、事務員1名が所属しており、被曝低減と診断能の高い画像の提供を常に念頭に置いて日々の業務にあたっております。

モダリティは1.5T MRI装置1台、64列CT装置1台、血管造影装置1台、透視装置1台、一般撮影装置（FPD）2台、乳房用X線撮影装置1台、骨密度測定装置1台、ポータブル撮影装置1台、外科用イメージ2台にて運用を行っております。

主な検査件数ですが2018年度MRI2,105件、CT5,849件、一般撮影18,928件で過去5年間をみましてもCTで1.20倍、MRIが1.73倍、一般撮影が1.17倍といずれも増加傾向にあります。このことから我々が携わる画像診断部門は診療において大きなウェイトを占めるものであると考えます。つきましては日々研鑽し、チーム医療の一員として診療の一助となれるよう努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、近隣の開業医の先生方におかれましては日頃より共同利用としてCT・MRI

をご利用いただきありがとうございます。2017年度の利用件数はCT・MRI合計562件、2018年度におきましては718件ご利用いただいております。年々増加傾向にあります。昨年度より常勤の放射線科医が赴任いたしまして、今までより特に安全面からも造影検査等もご依頼頂きやすい環境になったかと存じますので、何なりとご相談いただければと存じます。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



左から2番目 放射線科長 幸 秀明 医師

令和元年度 診療部新体制のご案内



診療部医師集合写真

令和元年度新体制での医師集合写真を撮影しましたので、ご紹介致します。医療連携について、今後ともよろしくお願い致します。

医療最前線 (114)

遅い梅雨入りによる高齢者の熱中症の増加に注意を

診療部長兼救命救急部長 吉岡 明子 医師

1. 熱中症の推移：隠れた熱中症死の可能性

発症環境は運動中、就業中、日常生活とさまざまですが、就業中熱中症に着目した厚労省データでは発症者数は毎年500人前後、死亡者数は毎年20～30人で、熊本県内では過去10年で死亡者2名、昨年はゼロとなっています。熱中症予防の普及啓発活動の効果と言えますが、以下の2点には注意を要します。

(1) 酷暑では発症者数が急増する

酷暑だった平成30年は就業中の熱中症発症は1000人超と例年の2倍に増加しました。同年の猛暑日日数の上位10観測地点のうち3地点が熊本県内で、熊本は熱中症ハイリスク地域といえます。今年は梅雨入りが遅れており、高気温状態での梅雨入りで湿度上昇が加わり、熱中症発症・重症化の危険性が高くなることが懸念されます。

(2) 畑仕事での熱中症は就業時か否か

統計上、平成30年は就業中熱中症死亡ゼロですが、山鹿市内で「高齢者、畑仕事、帰宅しない」熱中症死亡例が発生しています。業種「農業関連」の中に少量栽培の高齢者は含まれておらず、統計外の高齢者熱中症死の防止が必要です。

2. 熱中症のハイリスク：高齢者、肥満者、下痢中

熱の放散は「体表面皮膚の血流増加（風があると効果増）」「発汗し、汗が蒸発する時の気化熱」などで行います。高気温環境下では、体表面血流増加での放散はほぼ不可能で、「発汗・気化熱」による熱放散に依存します。よって「汗をかくだけでなく、かいた汗が蒸発すること」が重要になります。

また、高湿度では汗の蒸発が進まず「うつ熱」となり、身体は更なる熱放散のために発汗を続けます。持続により脱水が進行し発汗もできず高体温となり、最後は救命不能となります。

ぜひ、かかりつけの患者さまには「汗をかくだけではダメよ、汗が乾くような風を」と勧めて下さい。ただ、屋外農作業中には扇風機はないため、「エアコンのきいた車で休む、冷やしタオルを持参する」「1人では作業しない」などの指導が限界となります。

「体内での産生熱を体外に放散できない人」が要注意であり、「高齢者」以外に「肥満者」「下痢患者」も注意が必要です。肥満者は皮下脂肪が断熱材となり体表面からの熱放散ができず体温調整を発汗に依存するため、下痢患者はすでに脱水状態のためです。

3. 高齢者への指導

WBGT（暑さ指数）は有用指標ですが高齢者には具体的活用は難しく、以下を目安にご指導ください。

(1) 暑さ指数の目安：「屋内で29～32で危険」「屋外で26で危険」

(2) 梅雨時の暑さ指数は「気温～+3の値」

4. 熱中症への外来診療

熱中症に対して補液を行った場合の帰宅の目安として「自尿確認」をお勧めします。ER診療時には補液量以外に「普段程度の尿が出たか」を目安としています。漠然な目安ですが意外と便利です。無尿の場合は血液検査の「BUN、Cr、CPK」を平常時データと比較する必要があります。帰宅の際は水分励行、症状経過観察の指導もお願いします。



「プレパパ・ママ教室」に参加して（助産師の関わり）

山鹿市では、初めて出産を迎える夫婦を対象とした勉強会で、出産や子育てへの不安を和らげる等の子育て支援や、虐待防止啓発を行うことを目的にプレパパ・ママ教室を開催しています。

令和元年6月2日（日）山鹿子育て支援センターに於いて、プレパパ・ママ教室が開催されました。当センターの四ヶ所助産師が講師として参加し、8組の参加者に対して講話と沐浴指導、妊婦体験を通してこれからの育児への不安を軽減する関わりを行いました。

講話は、母乳の利点と母乳育児のポイントについての内容でした。参加者の感想には、「出産予定日も間近になり、産後の育児について不安になることもありましたが、体験・講話を通して不安を楽しみに変えることができました」「イラストつきの説明で、わかりやすく伝わりました」等の意見をいただきました。



講話の一場面（赤ちゃんの通り道）

沐浴指導では、各組が人形を使って実際にベビーバスに入れる体験をしてもらいました。「想像以上に大変だなと感じました。持ち方や洗い方を丁寧に教えていただき助かりました」などの感想でした。

プレパパ妊婦体験では、8.6kgのエプロンを着用して、しゃがむ動作や爪切り、靴下をはくなどの体験をしてもらいました。「思ったより重くて大変だとわかったので、これからは今まで以上に気にかけて手伝いたい」などの感想が聞かれました。

毎年3回の開催があっており、早期に参加申し込みが一杯になり人気があるとのこと。今後も市民対象の取り組みや、子育て支援に貢献していきたいと考えています。

（文責：看護師長 原田靖代）



沐浴指導の様子

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

ご 案 内

第42回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
15.臨床問題解決のプロセス 36.視力障害、視野狭窄 37.目の充血

下記により第42回公開特別講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 豊永 政和

記

日時：令和元年7月12日(金) 19:00～
場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演題：「緑内障診療の現状と新しい試み」
座長：山鹿市民医療センター

眼科長 草野 雄貴 先生
演者：熊本大学大学院 生命科学研究部
眼科学分野 教授 井上 俊洋 先生
会費：無料

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、迎田
TEL：0968-44-2185 (内線608)

がんボードのご案内

当センターでは県指定のがん診療連携拠点病院として鹿本医療圏のがん診療に積極的に携わっており、消化器内科・腫瘍内科・消化器外科・放射線科・病理診断などの各科医師と、看護師、薬剤師、診療放射線技師、ソーシャルワーカーなど他職種メンバーが、がん患者の症状や治療方針について意見交換を行う「がんボード」を開催しております。興味のある先生方は、是非お気軽に下記担当者までお問合せ下さい。皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時：毎月第2水曜日
17:30～18:30

場 所：山鹿市民医療センター 1階 医療研修センター
内 容：前半：肝動脈化学塞栓術と臨床工学士の関わり
臨床工学技士 西口 博憲・今村 雄太郎
後半：症例呈示

参加費：無 料

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
医療技術部 薬剤科 柴田 佳代
TEL：0968-44-2185 (内線758)



講演テーマ

●油断大敵！脂肪肝
●今こそ肝炎を治そう

山鹿 山鹿市民交流センター

会場 〈中会議室1・2〉 山鹿市山鹿987-3 TEL0968-43-1081

本原 利彦 先生
山鹿市民医療センター 消化器内科
渡邊 丈久 先生
熊本大学大学院 消化器内科学 助教

玉名 玉名市民会館

会場 〈第2会議室〉 玉名市岩崎152-2 TEL0968-73-5107

徳永 亮之 先生 熊本大学病院 消化器内科
福林 光太郎 先生 公立玉名中央病院 消化器内科部長

阿蘇 阿蘇医療センター

会場 〈講堂〉 阿蘇市黒川1266 TEL0967-34-0311

吉丸 洋子 先生 熊本大学病院 消化器内科
立山 雅邦 先生 熊本大学病院 消化器内科 助教

熊本 熊本市医師会館

会場 〈研修室2〉 熊本市中央区本荘3-3-3 TEL096-362-1221

杉 和洋 先生 国立病院機構熊本医療センター 診療部長 消化器内科部長
田中 基彦 先生 熊本大学大学院 消化器内科学 准教授

八代 熊本労災病院

会場 〈大会議室〉 八代市竹原町1670 TEL0965-33-4151

瀬戸山 博子 先生 熊本労災病院 第二消化器内科部長
佐々木 雅人 先生 熊本労災病院 副院長 消化器内科部長

天草 天草宝島国際交流会館 ポルト

会場 〈多目的ホール〉 天草市中央新町15-7 TEL0969-24-1155

川崎 剛 先生 熊本大学病院 消化器内科 特任助教
坂井 良成 先生 天草地域医療センター 消化器内科部長

水俣 国保水俣市立総合医療センター

会場 〈西館6階講義室〉 水俣市天神町1-2-1 TEL0966-63-2101

成田 礼 先生 国保水俣市立総合医療センター 消化器センター長
近澤 秀人 先生 済生会熊本病院 消化器内科学 助教

7.28 10:00
12:00

※講演後、相談コーナーを設けます。

● 上記の7会場にて、同日・同時刻に開催致します。
お近くの会場へお越し下さい。

参加
無料

どうぞお気軽にご参加ください

共催：熊本県 熊本県肝疾患診療連携拠点病院(熊本大学病院) 一般社団法人日本肝臓学会
後援：熊本県医師会 熊本市医師会 玉名市医師会 荒尾市医師会 鹿本医師会 菊池市医師会 阿蘇市医師会 上益城郡医師会
下益城郡医師会 宇土地区医師会 八代市医師会 八代郡医師会 水俣市医師会 人吉市医師会 球磨郡医師会 天草市医師会
熊本大学医師会 熊本県看護協会 熊本県薬剤師会
開催責任者：田中 基彦 熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学 TEL/FAX:096-372-1371



外来担当医表

7月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 御任 玲美	※ 猪山 慎治	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	※ 陶山 浩一	—	—
消化器内科	千代永 卓 本原 利彦	柚留木 秀人	本原 利彦	千代永 卓 柚留木 秀人	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※ 海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 松原秀太/中西浩一郎	工藤 智志 松原 秀太 中西 浩一郎	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 木下 浩一
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 山崎 浩藏	—	※ 非常勤医師	—
小児科	※ 石井 真美	—	※ 石井 真美 予防接種 (午後)	※ 石井 真美	—
セ ン タ ー 器 官	耳鼻咽喉科	—	※ 深見 直美	—	※ 非常勤医師
	眼科	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴
産婦人科	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗
※片渕美和子(午後) 7/2(火)、9(火)、11(木)、16(火)、23(火)、25(木)、30(火)					
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30 (受付は16:00) 迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

7月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
緩和ケア外来 (予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来 (予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	7/2(火)、9(火)、11(木)、16(火)、23(火)、25(木)、30(火)	
P E G 外来	担当医	隔週 第2・4水曜 (午後)	
両親学級 (予約制：産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日 (13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来 (予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>